

千葉県立博物館の事業に係る有識者意見交換会 自己評価票

達成度(数値達成度のめやす)		自己評価	総合評価
達成	目標値≥100%	4	A
ほぼ達成	目標値≥80%	3	B
やや不十分	目標値≥50%	2	C
不十分	目標値<50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値≥75%	4
ほぼ達成	達成値≥65%	3
やや不十分	達成値≥50%	2
不十分	達成値<50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考			
			上段:達成値 下段:目標値	値の説明	数値						
I	収集資料の整理・保存有効活用・調査研究	収集資料	1	博物館資料の受入等	28年度実績	367件	4	A	研究資料としての受け入れ含む		
					館設定の目標	356件					
			2	資料の情報化・公開実績	28年度実績	350点	4		デジタル画像化、エクセルデータ作成		
		館設定28年度の目標			356点						
		3									
		収集資料の有効活用	4	館外貸出(外部機関等展示等)	28年度実績	10件	4		A		
					要望のあった件数	10件					
			5	館内利用(学術調査等)	28年度実績	/	/				
		要望のあった件数			/						
6	著作物資料への利用(出版物掲載等)	28年度実績	16件	4							
		要望のあった件数	16件								
調査研究	7	調査事業件数	件数	28年度実績	3件	4	A				
				館の計画	3件						
	8	共同調査事業件数	件数	28年度実績	/	/					
館設定28年度の目標				/							
9	研究成果の公開状況	論文研究報告	28年度実績	2件	4						
			館の計画	2件							
大項目 I の総合評価(A~D)							A				
博物館コメント	北詰コレクション(金工資料)の受け入れは終了したが、データの整理、調査など、まだ時間が必要である。次年度以降の特別展、企画展の調査はもちろん、アート・コレクションプラス(収集作品+若手作家など一部作品借用)の、千葉県ゆかりの(若手)作家の調査に力を入れる。										
有識者コメント	資料の情報化・公開実績については、項目を分けた方が良い。 研究成果の公開状況についても学術利用・研究機関への公開と、一般への公開とに項目を分けた方が良い。										

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考		
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明	数値					
Ⅱ	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	28年度実績	119,915人	3	B	前年度特別展「香取神宮」展 28年度2か所、27年度1か所	
						前年度実績	122,573人				
			2	企画展(事業名) 津田信夫展	入館者数	28年度実績	6,223人	2			
					前年度実績	8,606人					
		3	移動美術館	入館者数	28年度実績	2,984人	4				
					前年度実績	759人					
		展示の充実	4	常設展示	更新回数	28年度実績	10回	4			A
						館設定28年度の目標	10回				
			5	企画展(事業名) 津田信夫展	実施回数	28年度実績	1回	4			
			館設定28年度の目標	1回							
6	移動美術館	実施回数	28年度実績	2回	4	県費開催は1か所(大網白里会場)					
			館設定28年度の目標	2回							
総合的な満足度	7	博物館		28年度実績			A				
	8	企画展(事業名) 津田信夫展	アンケート満足度 「とっても良かった」 +「良かった」の割合	28年度実績	94%	4					
	9	移動美術館		28年度実績	90%	4		大網白里会場			
大項目Ⅱの総合評価(A~D)							A				
博物館コメント	企画展は開催時期(10/25~1/15)の中で12月の入場者数が少ないため、関連事業等の工夫をしたい。常設展示(アート・コレクション)は収蔵作品ミニ展示として、季節ごとにテーマを変え、展示をしている。ポスター、チラシ、交差点前看板などを制作し、入場者数を増やす努力をしている。										
有識者コメント	12月に集客が落ちることは経年の経験上明白なので、ターゲットや広報先などを精査して、広報の対策をとること。										
Ⅲ	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	28年度実績	58%	4	B		
						前年度実績	32%				
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	28年度実績	0件	1			
						前年度実績	2件				
大項目Ⅲの総合評価(A~D)							B				
博物館コメント	引き続き、外部資金の開拓と獲得に努める										
有識者コメント											

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明	数値				
IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	28年度実績	97回	4	B	
						前年度実績	83回			
			2	HPでの利用状況	アクセス数	28年度実績	148,298件	3		
						前年度実績	153,999件			
			3	報道機関への情報発信	取材件数	28年度実績	43件	3		
						前年度実績	50件			
大項目IVの総合評価(A~D)							B			
博物館コメント	引き続き、きめ細かな広報に努めるとともに、具体的な来館に結びつくよう努力したい。									
有識者コメント	アクセスを増やす努力を続けること。ホームページを見やすく整理しては。PCからのアクセスか、スマホからのアクセスか、事前の情報収集か、旅行中のアクセスか、等を分析し、それに対応した情報を発信すること。SNSによる発信は重要な広報手段であるが、効果を出すためにはそれなりの人的対応が必要である。									
V	学校及び地域(関係団体)との連携・協働	学校との連携	1	学校利用受入	学校数	28年度実績	9校	4	A	
						前年度実績	8校			
			2	入館者数	28年度実績	316人	4			
					前年度実績	298人				
			3	生徒・児童	入館者数	28年度実績	2430人	3		
		前年度実績				2774人				
		4	博学連携(幼小中高への出前講座等)	学校数	28年度実績	28校	4			
					要望があった数	28校				
		5	利用者数	28年度実績	769人	4				
				要望があった数	769人					
地域関係団体との連携	6	団体数	28年度実績	7団体	4					
			要望があった数	7団体						
	7	連携・共催(大学、NPO等)	利用回数	28年度実績	9回	4				
				要望があった数	9回					
	8	利用者数	28年度実績	94684人	4					
前年度実績			16308人							
9	友の会活動	利用人数	28年度実績	393人	3					
			前年度実績	448人						
10	ボランティア活動	活動延人数	28年度実績	738人	4					
			前年度実績	505人						
大項目Vの総合評価(A~D)							B			
博物館コメント	学校や館外との団体の連携は多様化が進んでおり、柔軟な対応を心掛けたい。									
有識者コメント	教育センターなどと連携し、教員個々に興味を持ってもらうことが大事。教員同士のつながりを利用する。学校への講師派遣実績も学校との連携に数えて良いのではないかな。									

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値 下段:目標値		値の説明	数値				
VI	教育・普及活動	来館状況	1	陶芸基礎	参加者数	今年度実績	16人	3	B	
					募集員数		20人			
			2	陶芸中級	参加者数	今年度実績	20人	4		
					募集員数		20人			
			3	講座	ホリデー アート・蜜蝋 版画	参加者数	今年度実績	22人		4
						募集員数		20人		
			4		金工（鍛 金）	参加者数	今年度実績	6人		1
						募集員数		15人		
			5		篆刻	参加者数	今年度実績	20人		4
						募集員数		20人		
			6		しおかぜ気 分なカン バッジ！	参加者数	28年度実績	61人		2
						募集員数		100人		
			7		小さなアニ メーションを 作ろう！	参加者数	28年度実績	21人		4
						募集員数		20人		
			8		木暮さんと ワーク 海の 不思議ない きものをつ くろう	参加者数	28年度実績	23人		4
						募集員数		20人		
			9		美術館でい ろいろ作ろ う 夏休み ワークショップ	参加者数	28年度実績	29人		1
						募集員数		100人		
			10		ワーク ショップ	参加者数	28年度実績	13人		2
募集員数		20人								
11		千葉県移動 美術館ワー クショップ	参加者数	28年度実績	8人	2				
			募集員数		16人					
12		「企画展津田 信夫関連 金属加工に 挑戦！～鑄 金」ワーク ショップ	参加者数	28年度実績	6人	1				
			募集員数		15人					
13		オリジナル モノレール を作ろう！	参加者数	28年度実績	14人	1				
			募集員数		40人					
14		和工の不思議-小さな 彫刻をつ くろう	参加者数	28年度実績	16人	3				
			募集員数		20人					
15		講演会①	参加者数	28年度実績	23人	1				
			募集員数		200人					
16	企画 展関 連事 業	講演会②	参加者数	28年度実績	40人	1				
			募集員数		200人					
17		ギャラリ ートーク	参加者数	28年度実績	93人	2	計9回			
			募集員数		180人					
18		移動美術館ギャ ラリートーク	参加者数	28年度実績	123人	4	A	計5回		
			募集員数		100人					
19		ギャラリートーク	参加者数	28年度実績	375人	4	A	計13回		
			募集員数		260人					

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考		
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明	数値					
		総合的な満足度	20	陶芸基礎	満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	28年度実績	100%	4	B		
			21	陶芸中級		28年度実績	95%	3			
			22	講座 ホリデーアート・蜜蝋版画		28年度実績	100%	4			
			23	金工（鍛金）		28年度実績	90%	3			
			24	篆刻		28年度実績	88%	3			
			25	ワークショップ	しおかげ気分なカンパジ!	28年度実績	/	/	A	計数せず	
			26		小さなアニメーションを作ろう!	28年度実績	100%	4			
			27		木暮さんとワーク 海の不思議ないきものをつくろう	28年度実績	100%	4			
			28		美術館でいろいろ作ろう 夏休みワークショップ	28年度実績	/	/			
			29		日本画の技「たらしこみ」に挑戦!	満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	28年度実績	100%			4
			30		千葉県移動美術館ワークショップ	28年度実績	/	/			
			31		「企画展津田信夫関連 金属加工に挑戦! ~鍍金」ワークショップ	28年度実績	100%	4			
			32		オリジナルモノレールを作ろう!	28年度実績	/	/			
			33		粘土の不思議-小さな彫刻をつくろう	28年度実績	/	/			
			34		企画展関連事業	講演会①	満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	28年度実績			94%
		35	講演会②	28年度実績		88%		3			
		36	ギャラリートーク	28年度実績		/		/			
		37	移動美術館ギャラリートーク	満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	28年度実績	/	/	計数せず			
		38	ギャラリートーク	28年度実績	/	/					
		39	利用状況	相談件数(来館、メール、電話等)	利用件数	28年度実績	/	/	計数せず		
									館28年度の目標	/	/
		大項目VIの総合評価(A~D)								B	
		博物館コメント	イベントごとの参加者数のばらつきが見られた。内容の充実を図るとともに、周知について工夫を図りたい。								
		有識者コメント	参加者数はばらつきが出るものと認識するべき。 なぜ集まらなかったのかの分析をすること。 県内の教員を講師として実施してはどうか。 ボランティアの意見を聞く、場合によっては企画の段階から参加してもらう。								

分類	大項目	中項目	小 項 目			達成 状況	総合 評価	備考		
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値	
Ⅶ	人材育成 と安全管理	実習 研修	1	博物館実習	28年度実績	9人	4	A	要望数	
					館設定28年度 の目標	9人				
			2	教員等の研修	28年度実績	220人	4		要望数	
					館設定28年度 の目標	220人				
			3	職場体験	28年度実績	17人	4		要望数	
					館設定28年度 の目標	17人				
			4	インターンシップ	28年度実績	9人	4		要望数	
					館設定28年度 の目標	9人				
		安全管理	5	研修会の開催	実施回数	28年度実績	1回	4	A	
					館の計画	1回				
			6	防災訓練実施等	実施回数	28年度実績	1回	4		
					館の計画	1回				
大項目Ⅶの総合評価(A~D)						A				
博物館コメント	教員による研修利用が増加しており、学校利用へとつなげられるよう、カリキュラム等の充実を図りたい。									
有識者コメント										

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値
Ⅷ	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	28年度実績	4団体	3	B	
					前年度実績	5団体			
			2		28年度実績	277人	4		
					前年度実績	157人			
			3	外国人来館入込	28年度実績	0団体	1		
					前年度実績	0団体			
			4		28年度実績	34人	4		
					前年度実績	3人			
大項目Ⅷの総合評価(A~D)							B		
博物館コメント	県外団体や、外国人の来館については、千葉市内の他の施設との連携を工夫したい。								
有識者コメント	外国人来館の働きかけを積極的におこなう。 現場で来館者と会話をしながら、どこから来たかなどを調査しては。 近隣ホテルや駅でPRをする。								
総合評価(A~D) [各達成度の平均]							B		
総合評価と次年度への対策	来館者、参加者の反応は好評であるが、参加者、来館者の増加に結びついていない点があり一層の工夫を図りたい。								

【博物館評価に係る有識者意見】

評価項目全体に係る意見	前年度との比較ではなく、根拠を示したうえで目標値との比較でよいのでは。目標値をどうやって設定するか検討することが重要。
-------------	-------------------------------------------------------------

【博物館記入】

意見への対応	アート・コレクションについては、引き続き、当館のコレクションを中心に、新しい角度から収蔵作品を紹介するよう、調査研究をしていきたい。企画展や特別展についても、幅広い年齢層や来館者のニーズに対応するとともに、作品に関する日頃の調査成果を生かせる展示をし開催したい。 広報の範囲・手段についても、インターネット環境の効果的な活用を図りたい。また、ギャラリートーク、ワークショップなどでは、参加者の反応や、ボランティアなど外部の意見を参考に、また、学校教育との連携を図っていきたい。
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------